科目ナンバリング	U-LAS15 10003 LJ58						
授業科目名<英訳>	基礎地球科学B （地球誕生から現在まで） Introduction to Earth Science B [History of the Earth]			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　石村　豊穂		
群	自然科学科目群	分野(分類)	地球科学(基礎)	使用言語	日本語		
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	金1	配当学年	主として1・2回生	対象学生	理系向

[授業の概要・目的]

現在の地球が存在するに至る歴史を振り返る。地球には液体の水が存在し、生命体が存在している。この特徴を持つようになった宇宙と地球の歴史を振り返る。また地球の独自性がこのあとどのように変化するかについて考えるきっかけとしたい。

[到達目標]

身の回りで起きている現象の地球科学的な側面を理解する力をつける。特に時間と空間のスケールを意識して地球科学に関する情報を理解するための考え方を身につける。

[授業計画と内容]

以下のテーマについて、フィードバックを含め全15回で、それぞれ1-3回の予定で授業を行う。
・イントロダクション
・システムとしての地球
・太陽系の誕生
・地球とその大気の進化
・生命の誕生と進化
・人間の活動と地球の変化

期間内に起きた自然現象や履修者のフィードバックを反映させて内容を修正することがある。

[履修要件]

高校地学をベースとした内容。高校の地学、物理、化学の履修を前提としない。授業中必要になる知識については、自学自習を求める。

[成績評価の方法・観点]

学期内数回の小レポートと期末のレポートにより評価する。 詳細は初回授業で伝える。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

地球科学の基礎知識を前提としないが、必要に応じて予習復習することが求められる。期末までにアカデミック・ライティングの技法を習得していること。詳細は初回授業で伝える。

[その他（オフィスアワー等）]

基礎地球科学Bは同一時間帯にそれぞれ2クラス開講する。担当教員ごとに内容と構成が異なるので、シラバスを読んで選択すること。前期にに基礎地球科学Aを履修していれば同一教員のクラスを履

基礎地球科学B （地球誕生から現在まで） (2)へ続く↓↓↓

基礎地球科学B （地球誕生から現在まで）(2)

修することが推奨される。2クラスとも前後期同一教員のクラスを履修していることを想定して授業が構成されている。詳細は初回授業で伝える。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部、理学部